

平成15年8月1日

日本身体障害者水泳連盟

2003ジャパンパラリンピック水泳競技大会(2003JP大会)とアテネパラリンピック代表選手選考について

2003JP大会要綱の中のその他の項目で、「本大会の成績はアテネパラリンピック日本代表選手の選考資料とする」との表現について、選手等から「**本大会が選考会と考えてよいのか**」という問い合わせがありましたので、本大会とアテネパラリンピック代表選手選考の関係などについて、現時点での状況をお知らせしますので、ご理解賜りたいと存じます。

記

2003年7月末現在、アテネパラリンピックについての国際パラリンピック委員会(IPC)からの日本水泳代表枠配分は1名となっております。

今後のIPCの予定では、最終的な枠配分は2004年の3月となっております。

国際公認クラスを所持している選手の本大会で出した記録がこの枠配分に寄与することはあり得ますが、本大会での成績でパラリンピック日本代表となるものではありません。また、枠配分も特定個人になされるものではありません。従って、**本大会は「代表選考会」ではありません。**

要綱に記載されている「選考資料とする」との意味は、今後選手選考にあたって、記録を参考資料の一部とする趣旨です。なお、この件について、選手等に誤解を招かない配慮をIPCへ依頼いたしました。

アテネパラリンピックの代表選考については、現時点で日本パラリンピック委員会(JPC)から、選考に関する通知などはきておりませんが、シドニーパラリンピック大会の例では、日本身体障害者水泳連盟は連盟国際大会強化指定選手制度の趣旨を踏まえて、JPCに推薦し、JPCが諸手続きを経て決定いたしました。